

# ひとりから

子ども会情報紙『ひとりから』

発行日/2020年7月1日

発行/真宗大谷派(東本願寺) 青少年センター  
〒600-8164 京都市下京区藤訪町通六条下る上柳町199  
TEL: 075-354-3440 FAX: 075-371-6171  
E-mail: oyc@higashihonganji.or.jp

浄泉寺花まつり



## 蓮ちゃん通信 その①

2020年11月21日(土)~28日(土)

**おてらおやつクラブ  
in 東本願寺  
を開設します!**



みなさまからの「おそなえ」をお預かりし、特定非営利活動法人「おてらおやつクラブ」事務局を通して、子どもたちに「おすそわけ」し、貧困問題への支援を行います。



おてら  
おやつ  
クラブ

対象

お米、お菓子、乾麺、レトルトパック、飲み物、缶詰、調味料等の食品類又は洗剤等の生活用品

\*食品類については賞味期限が2021年1月以降のものをお願いします。  
\*お米はなるべく玄米のままをお願いします。

## 仏様の呼び声

青少幼年センター長 もちつき けいこ 望月 慶子

『仏説阿彌陀經』には、お浄土に咲く蓮の花について、「青色青光、黄色黄光、赤色赤光、白色白光。微妙香潔。」とあります。

青い花には青い光が、黄色い花には黄色い光が、赤い花には赤い光が、白い花には白い光があり、清らかな香りをあたりに漂わせている、ということです。

花に例えるならば、バラの花はバラとして美しく咲けばいいし、タンポポはタンポポとして美しく咲けばいいのであって、バラの花はタンポポになれないし、なる必要がないわけです。タンポポもバラの花にはなれないし、なる必要がないわけですから、それぞれに色も形もちがうのですからそれぞれに特色があっていいわけで、それぞれが比べることのできない唯一の命を輝かせて生きているということです。

そのことは、それぞれの独自性のすばらしさをたたえ、それぞれが同じでないから素晴らしいと言っているのだから、それは相手を認めるところです。私たちはみな、他を自分の色に染めたいと思っているところがあるので、違いを認めるとはとても難しいことです。

仏様は、「誰もが尊い命を生きています。あなたはあなたでなければ出せない個性が光っています。」と呼びかけていらっしゃいます。

お念仏はすべてが平等に間違いなく救われていく教えです。



# オノマトペであそぼう!

オノマトペとは、自然の中での音、人の声、物事の動きや様子を音(おん)で表したことばです。

水なら…ぽっちゃん、ぽとぽと、ジャージャー など  
他にも…サッ、ポツン、ムクムク、ホワホワ、ビチャ、シーン など

たくさんの物事をオノマトペで表すと、表現は無限大!  
オノマトペゲームをひとつ紹介します。



わくわく  
どきどき



1 モノの絵(文字でも可)を描いた紙やカードを数枚用意します。

たとえば



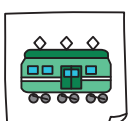
はな



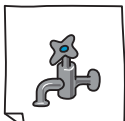
くつ



くるま



でんしゃ



すいどう

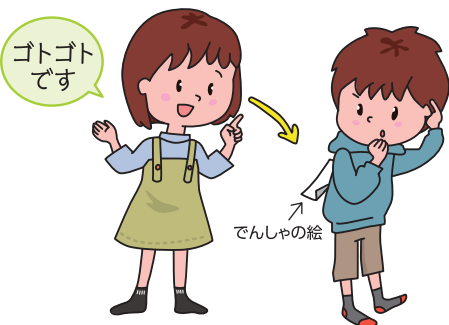
2 自分の絵(文字)がわからないように背中に貼ってもらいます。

せんたくばさみで止める、タックシールに絵を描くなど。



3 ペアで対面になり、相手に自分の絵(文字)を見てもらってオノマトペで表現してもらいます。

4 お互いに一言ずつオノマトペをもらい次のペアになり、くりかえします。

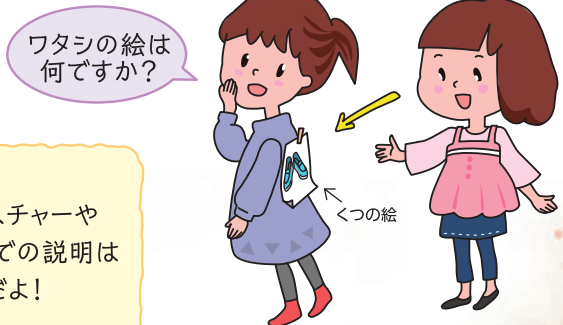


ボクの絵は何ですか?

でんしゃの絵



ジェスチャーや言葉での説明はダメだよ!



ワタシのは何ですか?

くつの絵

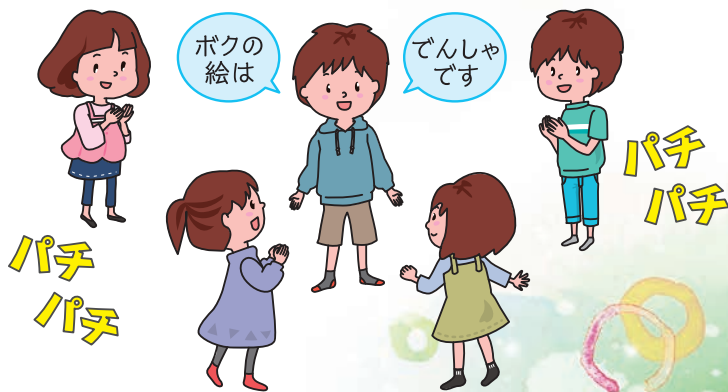
ペタペタです

5 数回オノマトペをもらい自分の絵(文字)が何だったかを発表し、正解なら拍手! わからなかったら、みんなでヒントをだしてもらおう!

## ワンポイントアドバイス

年齢に応じてカードのテーマを決めてやってみても!

- ◎たとえば「自然」なら…  
風、空、雲、星、月、土、太陽 など
- ◎「動物」なら…  
ライオン、ネコ、イヌ、ゾウ、キリン、ヘビ など
- ◎「道具」なら…  
えんぴつ、こくばん、ボール、はさみ、なわとび など



パチ  
パチ

## 蓮ちゃん通信 その2

子ども会出席カードがダウンロードできます!



東本願寺キャラクターが入った子ども会出席カード。  
青少幼年センターHPからダウンロードしてお寺の子ども会でご活用ください。  
出席カード用のシールは東本願寺出版で購入できます [1枚100円(税別)]

東本願寺 青少幼年センター

検索



# 「ひとりから」はじめる仏事

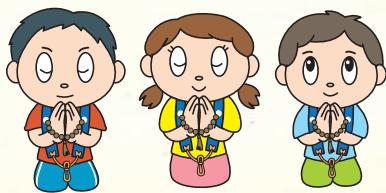
子どもたちに  
伝えてみませんか？

※大正時代、本山社会課から『児童と宗教』という児童教化の指導者のための雑誌が発刊されていました。そこには、先輩方が伝えてくださった遺産がたくさん。このコーナーでは、そこに連載されていた「教案」から、私たちの生活の中の仏事に関するものをサガエさんがリライトしてお届けします！！

※本山社会課…社会と寺院をつなぐべく初めて派内に設置された宗務組織。宗派の青少年教化を担っていた。

## 仏像

わたしたちは、み仏さまのお姿として仏像をみることができます。それはみ仏さまのお姿を通して、み仏さまのこころ「仏心」をみることに通じます。み仏さまに手をあわせるときは、落ち着いて手をあわせ、み仏さまのお顔を拝見しましょう。



また、阿弥陀さまのお姿をよくみてみましょう。立っていらっしやいますね。わたしたちは、「ああ疲れた」と座ったり、寝転んだりしますが、阿弥陀さまはいつも、どのようなときにも、わたしたちを見守り、救いの手をさしのべたいとお立ちになっていらっしやるのです。

出典：幡谷淳信「九月教案」布施  
『児童と宗教』3巻8号より、一部抜粋、現代語訳  
リライト：“サガエさん”こと佐賀枝夏文

ボクはこんな風に話してみました



さ が え なつ ぶみ  
佐賀枝 夏文  
(大谷大学名誉教授)

みんな、よく知っている「阿弥陀さま」は立っていらっしやいます。どうしてだか知っていますか。そのお姿の意味を知ると、とてもうれしくなるかもしれないね。

## コーナーの活用例

- ① 本文「仏像」をそのまま覚えて話す。または、ご自身の表現で話す。
  - ② プリントして配布し、朗読する。
- 上記以外にもその場に合わせてご活用ください！

本文のPDFデータは、青少年センターホームページ「子どもとあそぼう」のコーナーからダウンロードいただけます。

今号は、新型コロナウイルス感染症拡大により、全国に緊急事態宣言が出されている中で、編集となりました。

◎「パピコーありがと」三月に卒業した子ども会の六年生から色紙をもらいました。みんなで会うことが難しい状況の中、自分の気持ちを伝えようとしてくれた思いに、心があたたくくなりました。他者に思いを馳せること。忘れずにいたいと思います。

(青少年センター主事 高月沙生子)

◎半年前には考えてもみなかった世界に、子どもも大人も日々苦悩しながら生きている現在。過去を振り返り、未来を想像することで、今のあり方を考える時間が私に与えられています。再び、共に手を合わせ、歌い、遊び、語り合える日が来ることを願い、今号をお届けします。

(編集長 池崎方子)

編集後記



真宗大谷派の青少年教化の情報をお届けします。

<https://www.facebook.com/oyc.hitorikara/>

※facebookの個人アカウントをお持ちでなくてもご覧いただけます。

●真宗大谷派(東本願寺)青少年センター TEL.075-354-3440

青少年センターホームページ

東本願寺 青少年センター

検索

ぜひ、ご覧ください!!